

公共政策プログラムインフラ政策コース

コースの目的

インフラ政策コースは、人の生活や産業を質と量の両面で支え、国土の資源と環境を適切に利用し良好に保全するために、社会に不可欠な基礎となっているハード面・ソフト面の社会基盤（インフラストラクチャー：以下、インフラと略す）の諸様相を文理両面から学際的に理解した上で、インフラの充実と進化を積極的に推進する、産官各分野における将来の指導的テクノクラートとなるために必要な知見と見識・素養を養成することを目的としています。

ディプロマ・ポリシー

インフラ政策コースで、学生が身に付けるべき資質・能力の目標は次の通りです：

- ① インフラに関わる専門的な知識を有し、それに基づいた論理的な思考により、諸課題を分析し、対処できる能力
- ② インフラを取り巻く他分野の広範な知識を有し、それらを踏まえて俯瞰できる能力
- ③ インフラに関わる政策課題について分析し、政策研究としてまとめ、発表できる能力
- ④ 国際的な場において、多様な意見を聞き、また、自らの意見を述べ、議論ができる能力
- ⑤ リーダーシップ、マネジメント能力、社会に発信し推進する能力

カリキュラム・ポリシー

【必修科目】

「政策論文演習」では、論文作成または特定の課題についての研究成果のまとめに向けて、インフラに関わる諸課題の中から、的確に研究課題をコンフィギュレートし、企画化・プログラム化・実行し、その成果を論理的に適切に取りまとめ、さらに社会に発信する能力を養成します。

【コース指定科目】

コース指定選択科目としては、インフラ政策コースの基幹科目として国土・都市・交通に関わるインフラに関わる現代的知識を習得するために必要な5科目の選択必修科目を開講しています。

また本コースの教育カリキュラム構築上の基本方針は、公共政策プログラム共通の教育方針の他に、独自の方針として以下の4点があげられます。

- ① 国際業務・海外業務の重要性に鑑み、留学生との協働活動や対話、及び英語による学習を重視すること
- ② インフラの特性に基づき、現地・現物・現人主義を徹底すること。
- ③ 俯瞰力(時間的、空間的、分野的)を身につけるよう努力すること。
- ④ 研究に当たっては、本当に役に立つ研究になっているか？本当にユニークで面白い内容の研究になっているか？を常に自省すべきこと。

【研究指導】

学生の個別指導では、主指導教員及び副指導教員の複数名体制での研究指導を行います。

アドミッション・ポリシー

求める学生像

大学等においてインフラに関する相応の教育を受けたうえで、政策立案・計画策定・調査分析・建設・管理・研究開発などのいずれかについて、インフラに関わる一定程度の業務経験を有し、将来、テクノクラートとして嘱望される若手・中堅の人材。加えて、国際業務・海外業務への関心が強いことが望まれます。

入学前には、インフラに関する一定程度の基礎知識、英語に関する会話及び読解・作文能力(できればさらに中国語など他の外国語に関する能力・関心)、現代科学・世界史・世界地理・世界の文学に関する基礎知識あるいは関心を持つことが望ましいです。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

面接では対話力と自己アピール力、瞬発的思考力と冷静な対応力などを審査基準として選考します。

カリキュラムマップ： 公共政策プログラムインフラ政策コース

			ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②	ディプロマポリシー③	ディプロマポリシー④	ディプロマポリシー⑤
区分	科目番号	科目名	①インフラに関わる専門的な知識を有し、それに基づいた論理的な思考により、諸課題を分析し、対処できる能力	②インフラを取り巻く他分野の広範な知識を有し、それらを踏まえて俯瞰できる能力	③インフラに関わる政策課題について分析し、政策研究としてまとめ、発表できる能力	④国際的な場において、多様な意見を聞き、また、自らの意見を述べ、議論ができる能力	⑤リーダーシップ、マネジメント能力、社会に発信し推進する能力
区分Ⅰ 必修科目	PPP1000J	研究技法基礎		○			
区分Ⅱ 選択必修科目	ECO1000J	ミクロ経済学Ⅰ		○			
	ECO1050J	マクロ経済学		○			
	ECO2700J	計量経済学		○			
	ECO2710J	費用便益分析		○			
	ECO3000J	ミクロ経済学のビジネス実践		○			
	GOV2100J	政策過程論		○			
	GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価		○			
	GOV3100J	政策マネジメントの実践		○			
	GEN5020E	The World and the SDGs		○			
	GEN5030J	GRIPS ForumⅠ		○			
	GEN5040J	GRIPS ForumⅡ		○			
	IPR1020J	民法の基礎		○			
	MOR1030J	データサイエンス基礎		○			
	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ		○			
	MOR2000J	計画と評価の数理		○			
	MOR2020J	実践データサイエンス		○			
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ		○			
	PAD3100J	EBPM概論		○			
	REG1200J	行政法の基礎		○			
(コース)	DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	○		○	○	○
	DEV2040J	社会インフラと国土の政策論	○		○		○
	DEV2080E	Infrastructure Systems Management	○		○	○	○
	DEV2100E	Transportation Planning and Policy	○		○	○	○
	DEV2500E	Nature Managemnet and Infrastructure	○		○	○	○
区分Ⅲ 選択科目	DEV2140J	景観・デザイン論	○		○		
	DEV2150J	都市学の理論と実践	○		○		
	DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI	○		○		
	DEV2180J	水圏国土学	○		○		
	DRM2050J	気象と災害		○			
	DRM3010J	災害対策各論Ⅱ		○			
	ECO2000J	ミクロ経済学Ⅱ		○			
	ECO2020J	政府と市場		○			
	ECO2600J	経済政策の理論と展開		○			
	ECO2900J	ゲーム理論		○			
	ECO3104E	Polical Economy		○		○	
	ECO3330J	都市政策の空間分析		○			
	ECO3440J	世界経済の見方:国際的政策協調の中で		○			
	ECO3750J	経済シミュレーション分析		○			
	ECO3870E	Agricultural Development		○		○	
	ECO3890E	Development Econometrics		○		○	
	ECO3920E	Economic History and Institutions		○		○	
	GEN3000E	International Development Policy		○		○	
	GEN4000J	政策研究演習		○			
	GEN5050E	Social Issue Workshop: Lessons from Japanese Experiences		○		○	
	GEN5060E	Social Issue Workshop for Business-Driven Innovation		○		○	
	GEN5070E	Workshop on Policymaking for Sustainable Development		○		○	
	GEN5080J	サイバーセキュリティ		○			
	GEN5090J	AI政策実践論		○			
	GOV1200J	国際協力論		○			
	GOV2110J	日本政治と理論分析		○			
	GOV2205J	国際政治経済		○			
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy		○		○	
	GOV3110J	政策デザイン論		○			
	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics		○		○	
	GOV3500J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応		○			
	PAD2000J	気候変動と地域社会		○			
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済		○			
MOR3010J	数理モデル分析演習		○				
REG2310J	地方自治と行政学		○				
		上記以外の授業科目		○			
区分Ⅳ その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目		○			